

■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」					■今年度のグリーンカーテン実施状況 (朝顔、ゴーヤ、へちまなど) □実施した ■実施していない		
取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境教育の推進	自然や環境について、地球環境の保全の視点で学習します。	1	野菜作りの学習(植物に親しませるとともに、自然のすばらしさを感じさせる)	1・2年 仲よし級担任教諭	児童 教職員	・花、野菜の栽培に取り組み、植物に親しませるとともに、自然のすばらしさを感じることができた。また、卒業式の花道にも飾らせてもらい、渡り廊下が彩り鮮やかなものとなった。 ・仲よし級では野菜の栽培のみならず、調理すること、販売活動も行った。お世話することの大切さに気付き、調理するときの注意点、販売活動での計算する力も身についた。 ・理科や総合的な学習の時間等を通して、市(環境保全課)から提供されたざるを使用して、マイクロプラスチックの問題についても、体験的に学んだ。	【取組の評価】 □達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 ・それぞれの学年に応じて、自然や環境について考えるきっかけをつくれた。 【今後の課題】 ・校内だけで終わらせるのではなく、家庭や地域にもその活動が広がる展開を考えさせていきたい。 【次年度への引継ぎ事項】 ・学区内に市役所もあるので、市とのつながりをこれからも大切に学んでいきたい。
		2	市の様子(茅ヶ崎市の土地利用の様子から、海・川・森林等の保護について)を考える	3年担任教諭	児童		
		3	環境問題についての学習	5・6年担任教諭	児童		
		4					
省エネルギー・省資源の推進	電気・水・紙などの資源保護に努めます。	1	学校全体での節電・節水	教頭 学校事務職員	児童 教職員	・梅田向上委員会では、「梅田SDGs」を掲げ活動した。 ・宮ヶ瀬ダムの見学も含め、自分たちが使う水がどこから、どのような過程を経て自分たちのところに運ばれるのかを理解した。その結果、より大切に水を使うようとする意欲が生まれた。 ・一人一鉢の栽培学習では雨水を利用することが習慣化し、身近な節水を心がけた。	【取組の評価】 □達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 ・節電や節水など、子どもたちが子どもたちなりに資源保護の大切さを感じ、実際に活動をした。 【今後の課題】 ・一方、まだまだ流しの水が流しっぱなしになっている場面が見られたので、より浸透させていきたい。 【次年度への引継ぎ事項】
		2	水はどこからの学習	4年担任教諭	児童		
		3	野菜・花を育てようの学習(1人1鉢での栽培学習・水やりに雨水を利用する)	1・2年担任教諭	児童		
廃棄物削減の推進	リサイクル。リユースに努め、廃棄物を削減します。	1	古本や不要な日用品類を集め、リサイクルショップや協力団体に引き取っていただく活動(FKP-古本回収プロジェクト)	運営委員会 担任教諭	運営委員会 児童・全校児童	・今年度「FKP」の活動は一旦中止となった。 ・4年生は社会の学習の中で、家庭で1週間に出るごみの量と種類を調べたり、社会見学で市の最終処分場や環境事業センターの見学を行ったりした。また、市の資源循環課より、パッカー車の出前講座を開催し、ごみについての現実、課題を深く学んだ。 ・仲よし級では、海岸の環境問題について知り、ゴミ拾いを行った。また、拾ってきたごみからキーホルダーを作成し、アップサイクルについて学び、さらにポスターにしてまとめた。 ・エコキャップの回収は、活動の日常化が図られている。お家にあるキャップがたまと、もってくる児童が多い。テトラパックの回収も、放送を入れるなど取組を促していた。	【取組の評価】 ■達成できた □ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 ・梅田小は海からは離れた環境にあるが、やはり茅ヶ崎と言えば、海が存在が大きいと考える。海とのつながりができた一年であった。4年生のごみの学習は定番になっていて、実際に見学することを通して、子どもたちが気付き、考える活動ができた。 【今後の課題】 ・イベント的に集中して取り組む活動と、日常的に継続して行う活動を意識しながら、学校全体としての取り組みを考えたい。 ・FKP活動を今後どうするのかは、さらに検討していきたい。 【次年度への引継ぎ事項】
		2	エコキャップの回収	教頭	児童 教職員		
		3	ゴミはどこへの学習	4年担任教諭	児童		
		4	マイクロプラスチックの学習	仲よし級担任教諭	児童		

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。



4年生環境美化センターの見学



4年生パッカー車出前授業

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

大久保仁晶

【今後の方向性について】

小学校は6年間という幅の広い期間なので、各学年に応じた取組を考え、系統性を意識しながら定着させていきたい。今年度、従来から取り組んでいた FKP プロジェクトを一旦中止した。毎年行っているからという発想ではなく、「この活動の意味は?」と確認しながら活動を行っていきたい。もちろん、子ども・教職員への新たな負荷とならないよう、継続できる範囲での取組を意識していくことも大切であると考えている。また、梅田小学校の地域の特性を活かして、学校だけではなく、地域や市内の施設などとの連携を通して、より子どもたちが活動できる機会を設けていきたいと考えている。